

腸管出血性大腸菌感染症発生状況(平成26年)

平成26年1月1日～12月31日

番号	患者別	性別	年齢区分	発病月日	初診月日	診断月日	血清型	VT型	備考
1	患者	男	60代	1.24	1.25	1.29	O26	VT1	
2	患者	女	20代	/	6.7	6.12	O157	VT1	無症状病原体保有者
3	患者	男	5-9歳	6.25	6.26	6.30	O157	VT2	
4	患者	男	0-4歳	6.27	6.28	7.1	O26	VT1	
5	患者	女	60歳	/	6.14	7.9	O157	VT1&2	無症状病原体保有者
6	患者	男	0-4歳	7.4	7.7	7.10	O157	VT1&2	
7	患者	男	40代	/	7.11	7.17	O157	VT1	無症状病原体保有者
8	患者	女	20代	7.20	7.24	7.30	O157	VT1&2	
9	患者	男	20代	7.28	7.30	8.4	O157	VT1&2	
10	患者	女	10代	8.2	8.2	8.11	O157	VT1&2	
11	患者	女	10代	8.8	8.10	8.13	O157	VT1&2	
12	患者	男	5-9歳	8.25	8.26	8.27	O157	VT1&2	
13	患者	女	70代	9.18	9.22	9.25	O157	VT2	
14	患者	男	70代	9.29	10.2	10.7	O157	VT2	
15	患者	男	30代	10.10	10.11	10.15	O157	VT2	
16	患者	男	5-9歳	11.28	11.29	12.2	O26	VT1	
17	患者	女	5-9歳	12.8	12.14	12.14	O157	/	HUS例、LPS抗体陽性
18	患者	女	30代	12.19	12.16	12.19	O157	VT2	
19	患者	女	10代	12.20	12.20	12.24	O157	VT2	

※2006年4月に感染症発生届出基準が一部改正され、溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例に限って、便からVero毒素を検出した場合や患者血清からO抗原凝集抗体または抗Vero毒素抗体を検出した場合にも届出が必要となりました。